



UNAIDS プレス声明 (2020年11月23日)

世界エイズデー2020に向けたウィニー・ビヤニマ国連合同エイズ計画(UNAIDS) 事務局長メッセージ

2020年の世界エイズデーはこれまでにないものになります。

過去20年にわたり保健と開発の分野で積み上げてきた世界の成果がCOVID-19によって脅かされています。そこにはHIV対策の成果も含まれています。

他のすべての疾病の流行と同じように、COVID-19の流行もすでに存在している不平等を拡大するものなのです。



(画像をクリックすると動画を見ることができます)

ジェンダーや人種、そして社会的および経済的な不平等です。私たちはいま、格差がさらに拡大する世界に向かおうとしています。

HIV 運動はこの 1 年、私たちが獲得してきた成果をまもってきました。HIV 陽性者や社会的に弱い立場に置かれた人たちをまもり、コロナウイルスの流行を押し戻そうとしてきた皆さんのことを私は誇りに思います。

HIV アクティビストや HIV に影響を受けているコミュニティは、HIV 治療薬の複数月調剤キャンペーン、医薬品宅配への手配、危機に直面している人たちへの財政支援や食糧、避難所の提供などの対策の中心を担ってきました。皆さんに敬意を表します！

私たちが HIV に打ち勝つことができたのは、互いに共有の責任を認め合い、コミュニティが大きな力を発揮して貢献してきたからです。

そしていま、HIV と COVID-19 の流行が同時に進行する現状を克服するには、これまで以上にその力が必要となっています。

皆さん、COVID-19 対策では、世界が HIV との闘いで経験した過ちを繰り返すことはできません。HIV には治療法があります。それなのに、途上国ではその治療を受けられないまま何百万もの人が亡くなっていきました。

いまなお HIV 治療を必要としている人のうち、1200 万人以上が治療を受けられずにいます。2019 年には年間で 170 万人が新たに HIV に感染しました。必要なサービスを利用することができないからです。

コロナウイルスに対する人びとのワクチンの実現を UNAIDS が強く支持しているのもこのためです。

グローバルな問題にはグローバルな連帯が必要です。

COVID-19 ワクチン候補の効果と安全性が初めて証明されつつあり、さらに多くのワクチン候補がこれに続くことも期待されています。ただし、公平なアクセスの確保に関しては重大な懸念が残されたままの状態です。ワクチン開発に取り組む企業に対し、私たちは技術とノウハウを公開して共有できるようにすること、そして知的財産権を放棄して、世界中のすべての人をまもるために必要なワクチンを大規模かつ迅速に生産できるようにすることを求めています。そうしなければ世界経済を回復させることはできません。

エイズ流行終結という私たちの目標は、COVID-19 以前にすでに軌道から外れていました。HIV 感染のリスクを高める社会的不公正をなくさなければなりません。健康への権利をまもるために闘わなければなりません。健康へのユニバーサル・アクセスに必要な投資を政府が怠っていることに言い訳はできません。医療費の利用者負担金など、人びとを保健医療サービスから締め出す障壁は取り除かなければなりません。

女性・女兒の人権を完全に尊重しなければなりません。ゲイ男性、トランスジェンダーの人たち、セックスワーカー、薬物使用者を犯罪者とみなし、社会から排除することをやめなければなりません。

2020 年も終わろうとしています。世界は危険の真ただ中にあり、これからの数カ月は容易なものではありません。

グローバルな連帯と共有の責任がなければ、コロナウイルスに打ち勝ち、エイズ流行を終結に導き、すべての人に健康の権利を保障することはできないのです。

ありがとうございます。

ウィニー・ビヤニマ

UNAIDS 事務局長、国連事務次長